

千葉大学穎原研究室による 中村邸の活用プラン発表

中村邸は一宮川を背に建つ江戸時代からの有力な商家でした。
「千葉県博覧図」(明治27～29年)には敷地内に多くの建物が描かれ、
そのなかに書院といわれる建物があります。

この書院には「波の伊八」として知られる3代目武志伊八郎信美
(1816年(文化13年)～1889年(明治22年)作の欄間があり一宮町指定有形文化財です。

ほかにも付け書院上部の欄間や江戸期と推定される仏壇など、文化的価値の高い建物です。

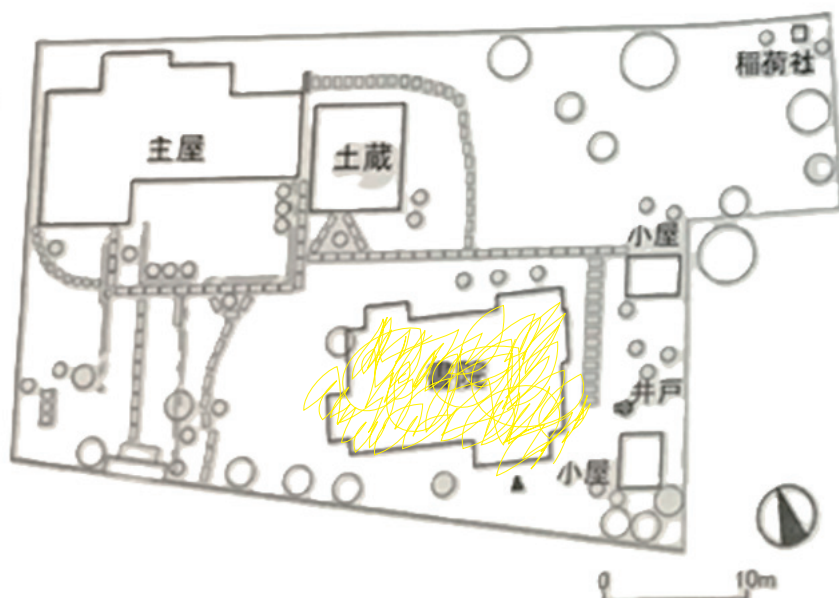
しかし現在は住む人が絶えて久しく荒れるにまかされた状態です。

この建物を再生し文化財の存在を知らしめ、町内外の人々に親しんでもらえる活用プランを
千葉大学大学院工学部建築学科 穎原研究室の学生が提案します。

中村邸って？

6月25日(水) 10:30～ 寿屋本家座敷

どなたもお気軽に参加いただけます。予約不要



<協力・助言>
一宮町教育委員会
学芸員 江澤一樹氏

<主催>
NPO 法人さすが一の宮
長生郡一宮町一宮 2987
電話 0475-36-3989
令和7年度事業「中村邸の文化財保護と
活用に向けての準備」